

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873500650
法人名	医療法人 河辺整形外科
事業所名	グループホーム浜っ子
所在地	伊予郡松前町浜858番地
自己評価作成日	平成 21年 6月 25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年7月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

笑顔で毎日がゆったりと過ごせるよう努力している。 食事は栄養面に留意し、おやつは手作りを心がけている。 迅速かつ親切的な対応ができるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体が病院(整形外科)であり、緊急時には医師の指示を仰ぐことができる。また、医師の専門外の分野でも医師のネットワークを活用し、対応することができる。 利用者の重度化が進んできているが、職員一人ひとりが利用者の状況、状態を把握するよう努力していることが伺える。 巡回相談員を定期的に受け入れるなど、外部からの指摘も真摯に受け止め、改善しようとする姿勢がみられる。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

グループホーム浜っ子

(ユニット名)

2F

記入者(管理者)

氏 名

清水 みずほ

評価完了日

21年 6月 25日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ホームの軸である「笑顔」に基づいた理念を日々行っていけるよう努力していく。 (外部評価) 開設当時に掲げた理念を、職員間で話し合いをした上で全員が一貫して持ち続け、共有するとともに日々のケアで実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ホームが地域と孤立することのないように、地域の行事等に参加させてもらう。 ホームからも地域の行事に出かけて行ったり、ホーム等に招いて利用者参加で催しをして地域とのつながりを保っている。 (外部評価) 自治会の役員を通じて情報収集に努め、地域の行事に参加したり、近くの幼稚園と交流を行ったり、中学生の職場体験を受け入れている。また、ボランティアグループの訪問を積極的に受け入れ、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう努力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 今現在のところ、地域に貢献すると言う点では、これといった案がなく、検討中です。	

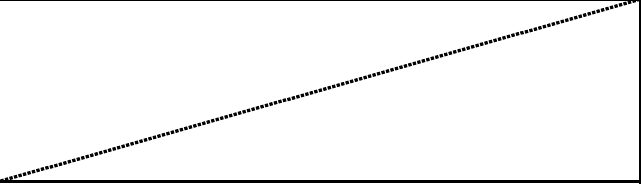
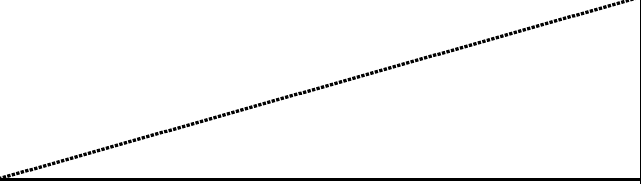
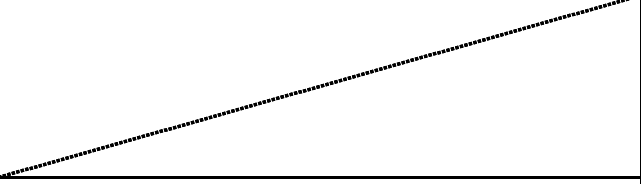
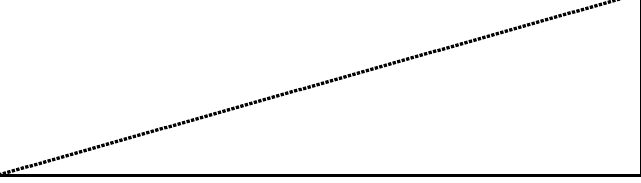
自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議での意見・報告等を取り入れ、サービ ス向上に活用している。 ホーム外よりの意見、アイデア等があれば、積極的 に取組みができるよう話し合いを持って行う。	
			(外部評価) 家族会の設置について提案があり、現在設置に向け 準備中である。その他いろいろな情報やアイデアが会 議中に出され、サービスの質の向上に役立てることが できている。また、欠席した委員に対しては当日資料 を送付するなど、関係が途切れない努力もしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で相談や協力を依頼している。	
			(外部評価) 行政の栄養士や巡回相談員にアドバイスをもらっ たり、運営推進会議にも行政職員等に参加してもらい、 状況に応じて行政説明をしてもらっている。その他不 明な点なども、気兼ねなく聞ける良好な関係を築いて いる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間、もしくは非常時以外は開放的である。 利用者の身体における拘束等は全くなく、施錠にお いても日中は開放的にされている。	
			(外部評価) ドアを開けるとすぐ階段がある箇所は、転落事故防止 のため施錠しているが、誰でも手が届くドアの柱に鍵 を吊り下げ、エレベーターもあるので、安全を確保し ながら自由な暮らしを支援している。また、職員間 で、日常業務で拘束につながることはないか日頃から 話し合っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) スタッフ一同虐待防止には特に気をつけている。 利用者同士についても同様です。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) グループホーム等の研修に参加したり、家族さんの要望なりの声を聞いて活用していく。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者入居時点において行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見の窓口である意見箱を設置して対応している。 (外部評価) 管理者や職員は、家族や利用者からの意見や要望を面会時に聞き取るなど努力しているが、今後、さらに何でも言いやすい雰囲気づくりに努め、意見等を運営に反映させるための検討を進めている。	現在、家族会の設置を進めているところであり、さらに家族との距離を近づけて、意見や要望を反映した今以上の運営に期待したい。

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 週に1度ミーティングを行い、機会を設けている。また、個人面談により意見や提案を聞き反映させている。 (外部評価) 全員でのミーティングは2カ月に1回、各フロアごとには不定期だが、かなりの頻度で話し合いがもたれている。勤務の都合上、参加が難しい職員もあるため、連絡ノートを活用し全職員に詳細が行き渡るよう配慮している。職員が意見や提案などを自由に書き込める専用のノートがあり、職員の声を活かす仕組みができ	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 自己採点票をもとに個別に面談を行い、要望を聞き、向上心が持てるように努力している。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 全ての職員が質を向上させていけるよう、職員が働きながら技術や知識を身につけていくこと（OJT等）を支援している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他事業所の運営推進会議等に参加させていただいて、日頃の仕事の悩みの解消やサービス水準の向上に取り組んでいます。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前に面談、入居後も本人の話を聞き、安心していただき、良いサービスができるよう心がけている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 来訪されたときや、電話の折に、必ず近況や要望等をお尋ねし、迅速に対応できるように努力しています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前に数回訪問し、適切な対応を検討している。他のサービスについても説明し、相談の上、本人・家族の了解のもとに支援している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に過ごす時間の中で学んだり、共感することを大切にして、信頼し、支えあえる関係を作っている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会に来られる家族さんとは、良い関係ができている。請求書に近況を報告した文章を掲載している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 気兼ねなくホームに訪問でき、訪問時には心地よく過ごせるよう配慮している。 (外部評価) 買い物やドライブの時に、馴染みの場所を選んで通るように心がけている。ホームに昔からの友人が訪ねてきたり、ホーム正面の中学校に通う利用者の孫が帰りに立ち寄る場合などは、過ごしやすい配慮をし、また来てもらえるように働きかけている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 相性や性格などを把握して、孤立しないように配慮している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 相談があれば応じるが、積極的な働きかけはしていない。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 理念のなかの「その人らしい人生が送れるように」を 実践するために、職員間での情報を共有するための ノートを作ったり、ケースカンファレンスを行う。 (外部評価) 面談時に、担当の在宅のケアマネや相談員からも話を 聞いて意向の把握に役立てている。また、職員が日常 会話で得た利用者本人の思いを職員会議で話し合ったり、 連絡ノートを活用し職員間での情報共有にも努め ている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過 等の把握に努めている	(自己評価) プライバシーに配慮しながら、入居時にケアマネ・本 人・家族から情報を集め、把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一日の流れの中で時間を追って記録を残し状態把握に 努めている。特に本人のできる力を暮らしの中で発見 していくことに努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 本人や家族の話を聞き、課題を引き出し、その人らしい生活が送れる介護計画を作っている。 (外部評価) 一人の職員が数人の利用者のサービス評価を担当・作成しているが、職員全員で意見交換し再検討したうえで、家族にも確認している。基本的には1か月に1回評価しているが、本人の変化や家族等の要望などに応じて計画の見直しをしている。	 
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日常の記録は、細かく記録されているので、記録を根拠にしながら、職員間のケアに活かしているが、見直しには活かされていない。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 日々の業務だけに捕われず、その時々々のニーズに柔軟・迅速な対処に心がけている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 介護相談員が毎月来てくださり、協力していただいている。身近に文化・教育施設があり、利用している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人・家族の意向を第一に考え、それぞれのかかりつ け医を受診している。	
			(外部評価) 家族や本人が希望する病院での受診を第一に考えてい る。必要に応じて、母体病院の医師から病院を紹介し てもらったり、近隣の歯科や皮膚科の往診を受けるな ど、複数の医療機関の協力を得ながら適切な受診支援 に努めている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 個別の主治医がいるため、その医療機関の看護員に相 談している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 蜜に連携が取れているとはいえないが、現状況や通院 の見込み等については相談を行っている。家族をと おして早期退院に向けての働きかけをしている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化や終末期に対しては「医療行為は行わない」と いう方針を決めている。段階ごとに家族等かかりつけ 医等と意向を確認しながら対応方針の共有を図ってい く。日常の健康管理や急変時に対応できるよう話し合 いをしている。	
			(外部評価) 入所時に医療行為は行わないという方針を家族や本人 に説明をしているが、本人の状態や家族の意向など状 況の変化を考慮し、安心して納得できる最期を迎えら れるよう、話し合いを繰り返し、最良のケアが行える よう取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救命講習を毎回職員が順次受けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域の災害対策には参加できていないのが現状である。今後はできるだけ参加するよう心がけたい。 (外部評価) 消防署の協力を得て避難訓練を行っている。スプリンクラーの設置についても計画をしており、いつ起こるかわからない災害に対する職員の危機意識は高い。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人情報内外共に十分に気をつけている。利用者さんの立場になって声かけをしている。 (外部評価) 家族や本人の了解を得て、親しみを込めて利用者を愛称で呼ぶこともあるが、一人ひとりのプライバシーを大切に考えている。職員の声かけも、穏やかで利用者を尊重した丁寧な言葉遣いである。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活において、個人の意思を尊重している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ひとりひとりのペースに合わせ、希望通りの生活ができるように配慮している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者の持ち物の中で色のバランスを考えたり、食後口の周りにこぼしてないか等、気をつけている。 利用者個人への行きつけの所に行けるよう支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニュー、作り方等を聞き、できるだけ昔食していたものを食べる事等、準備等のお手伝いしてもらい声掛けをして関心を持って頂く。 (外部評価) 職員は、利用者と一緒に準備・片づけをし、食事の時には作ってくれた方の労をねぎらうなどの配慮があり、和やかな雰囲気の中ゆったりと食事が楽しめている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 体調に気を配り、日々バランスの良い食事を召し上がっていただけるよう心がけ、水分摂取不足にならないようにしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後は必ず口腔ケアの声かけをしている。一部介助が必要な人は、職員が手伝っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表に基づき、個々に声かけ・誘導に努めている。失禁への対応は特に気をつけている。	
			(外部評価) 日中は、特別な理由がない限りトイレ誘導を行い、おむつは本人や家族の希望がない限り使用しない。たとえ希望が出て、利用者本人の自尊心やストレスに配慮しながら、おむつはずしを試みるなど、排泄の自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 常に排便チェックに心がけ、夏場は特に水分補給に気を配っている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者さんの希望を取り入れ、日時・時間の調節に努めている。	
			(外部評価) 入浴時間を職員が一方的に決めないで、毎日入浴したい、午後から入りたいなど、本人の希望を可能な限り聞き入れて対応している。また、リフトでの入浴設備も備えており、個々の身体状況に応じた入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 生活のリズムに沿って各々が安心して過ごせるように心がけている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の目的・副作用等の理解に努め、体調変化に迅速な対応ができるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 各々の趣味が楽しめるよう支援し、これまでの生活能力を十分に発揮していただけるように配慮している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) できるだけ希望が叶うよう、地域の情報も取り入れ、行事に参加している。欲しい品は自分で選べるよう買物にも行かれている。	
			(外部評価) 戸外での大きな行事は年間計画を立てて、できるだけ多くの利用者が参加できるよう工夫している。身体的に外出が困難な利用者もいるが、屋内に閉じこもらないで玄関先に出るなど、五感を刺激する機会を作るように配慮している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理のできる利用者さんにはご自分でして頂き、同行して見守っている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に応じて、電話を掛けていただいている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者さんと共に季節に応じた作品作りを楽しみホール等に展示したり、換気温度に気をつけ、快適に過ごせるように配慮している。 (外部評価) リビングには、利用者と職員が一緒に制作した七夕飾りがあり、季節感を感じさせる。また、観葉植物や切り花が飾られており、家庭的で心和む雰囲気づくりがされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールやソファでゆったりとテレビを見られたり、数人で思い思いのことを楽しむ居場所が確保されている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室は自宅とお余り変わらない雰囲気作りにするため、希望のものは家族さんに届けて頂き安らげるよう努めている。 (外部評価) 使い慣れたタンスなどを持ち込んだり、希望に合わせて畳の利用も可能で、利用者にとって居心地がよく安らげる空間となるよう工夫されている。居室の掃除は、できるだけ利用者本人が行っているが、できないところは職員が手伝って支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者さんの「できること」への声かけに努めているが、無理強いはいしていない。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873500650
法人名	医療法人 河辺整形外科
事業所名	グループホーム浜っ子
所在地	伊予郡松前町浜858番地
自己評価作成日	平成 21年 6月 25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 **※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載**

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年7月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

笑顔で毎日がゆったりと過ごせるよう努力している。
食事は栄養面に留意し、おやつは手作りを心がけている。
迅速かつ適切な対応ができるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体が病院(整形外科)であり、緊急時には医師の指示を仰ぐことができる。また、医師の専門外の分野でも医師のネットワークを活用し、対応することができる。
利用者の重度化が進んできているが、職員一人ひとりが利用者の状況、状態を把握するよう努力していることが伺える。
巡回相談員を定期的に受け入れるなど、外部からの指摘も真摯に受け止め、改善しようとする姿勢がみられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

グループホーム浜っ子

(ユニット名)

3F

記入者(管理者)

氏 名

清水 みずほ

評価完了日

21年 6月 25日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」＋「Enterキー」です】

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 笑顔を基本とした理念を意識し、笑顔を基本としたサービスを心がけている。	
			(外部評価) 開設当時に掲げた理念を、職員間で話し合いをした上で全員が一貫して持ち続け、共有するとともに日々のケアで実践している。	すでに、具体的なケアの面からは、掲げている理念に到達していると思われる。今後、職員間でさらに話し合っ、現在の能力にふさわしいもう一段高い理念を掲げるにより、サービスのレベルアップを期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ご近所のボランティアの方々に来ていただいたり、保育園の行事に参加させてもらったりしている。	
			(外部評価) 自治会の役員を通じて情報収集に努め、地域の行事に参加したり、近くの幼稚園と交流を行ったり、中学生の職場体験を受け入れている。また、ボランティアグループの訪問を積極的に受け入れ、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう努力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 病院と連携し、地域へ発信して行きたいところである。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 区長・その他の人の意見を聞き、サービスに活かして いる。行事などの報告もしている。	
			(外部評価) 家族会の設置について提案があり、現在設置に向けて 準備中である。その他いろいろな情報やアイデアが会 議中に出され、サービスの質の向上に役立てることが できている。また、欠席した委員に対しては当日資料 を送付するなど、関係が途切れない努力もしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 市町村の研修に参加して、サービスの質の向上に取り 組んでいる。	
			(外部評価) 行政の栄養士や巡回相談員にアドバイスをもらったり 、運営推進会議にも行政職員等に参加してもらい、 状況に応じて行政説明をしてもらっている。その他不 明な点なども、気兼ねなく聞ける良好な関係を築いて いる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 理念を基本とし、利用者の身に立った介護を心がける ようにし、拘束のないケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) ドアを開けるとすぐ階段がある箇所は、転落事故防止 のため施錠しているが、誰でも手が届くドアの柱に鍵 を吊り下げ、エレベーターもあるので、安全を確保し ながら自由な暮らしを支援している。また、職員間 で、日常業務で拘束につながることはないか日頃から 話し合っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) スタッフと利用者、利用者と利用者の虐待のないホームであるように、日々懸命な介護を行うよう努力している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 県などからきた研修に参加し、理解を深めるようにしている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 説明し、納得していただいた上で、署名・捺印していただいている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見・不満などがあれば、その都度ミーティングを開き、対策を検討する。 (外部評価) 管理者や職員は、家族や利用者からの意見や要望を面会時に聞き取るなど努力しているが、今後、さらに何でも言いやすい雰囲気づくりに努め、意見等を運営に反映させるための検討を進めている。	現在、家族会の設置を進めているところであり、さらに家族との距離を近づけて、意見や要望を反映した今以上の運営に期待したい。

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者とスタッフ間で、気軽に何でも話せる関係を築き、個々の意見を受け入れる努力をしている。 (外部評価) 全員でのミーティングは2カ月に1回、各フロアごとには不定期だが、かなりの頻度で話し合いがもたれている。勤務の都合上、参加が難しい職員もあるため、連絡ノートを活用し全職員に詳細が行き渡るよう配慮している。職員が意見や提案などを自由に書き込める専用のノートがあり、職員の声を活かす仕組みができている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 年に1度の給料見直し時に、個人面談している。希望により研修に参加できる様に配慮している。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 協会の研修や勉強会への参加。 製薬会社の勉強会を病院と一緒にしてもらっている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 社協やグループホーム協会の研修等で、他の事業所の方と接し、意見交換をしてホームに持ち帰り、研修している。また、他のグループホームの運営推進会議に参加している。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前には面接、家族さんとの面接等にて。入居後は観察、対話で得た情報を、ミーティングや申し送りでスタッフ間で共有できるようにしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前より、家族との面談で要望を把握するように努 め、入所後も関係を密にしておくように努力してい る。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) ケアプランに沿ったケアを基本に、臨機応変な介護が できるようスタッフ間で情報の共有をし、今どんなケ アが必要かを話し合うようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 利用者とのいろんな意味での距離感が遠すぎないよ う、より良い人間関係を目指している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 上記のように、家族さんにもより良い関係を目指して いる。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) 買物・レクで馴染みのスーパーへ出かけ、ご近所さん との井戸端会議や近況報告をしたり、地域の行事への 参加で旧友とのふれあいができるよう、内面的になら ないように心がけている。 (外部評価) 買物やドライブの時に、馴染みの場所を選んで通るよ うに心がけている。ホームに昔からの友人が訪ねてきたり、 ホーム正面の中学校に通う利用者の孫が帰りに立ち寄る場 合などは、過ごしやすい配慮をし、また来てもらえるよ うに働きかけている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 個々の性格やハンデを理解するように努め、利用者同士の良好な関係への助けになるようにしている。が、様々な人やハンデがあるため、試行錯誤の日々である。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 亡くなった利用者家族へ、こちらからのフォローは難しく、失礼のない程度の支援に配慮している。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) できる限り、利用者本人の希望や決定に沿った介護をし、困難な場合は家族とも相談するようにしている。	
			(外部評価) 面談時に、担当の在宅のケアマネや相談員からも話を聞いて意向の把握に役立てている。また、職員が日常会話で得た利用者本人の思いを職員会議で話し合ったり、連絡ノートを活用し職員間での情報共有にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 限られた情報だけでは難しく、利用者との何気ない会話の中や、生活パターンの観察の中から気付いた事等をスタッフ間で共有したいと思っている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 高齢者の心身状態は日々変わりやすく、全てを把握することは難しいが、できる限り気を配って、現状の把握をしていきたい。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 個々の家族さんとスタッフは、時折情報交換はしているが、それぞれの家族さんと意見交換ができる場があれば良いと思っているが、なかなか実現は難しい。 (外部評価) 一人の職員が数人の利用者のサービス評価を担当・作成しているが、職員全員で意見交換し再検討したうえで、家族にも確認している。基本的には1か月に1回評価しているが、本人の変化や家族等の要望などに応じて計画の見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日の業務に時間を取られることが多く、詳細な記録は日々できていない現状だと思う。ミーティングや申し送り等での情報の共有は行っている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 体調管理が病院と併設されているため、本人や家族に安らぎを与えている。また専門外の受診についても紹介している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近くに文化・教育施設があり、情報が得られ易く、協力を仰ぎながら支援している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 入所以前の主治医を基本にしてもらい、その他希望の 病院があれば受診していただいている。 特に他の病院や主治医がなければ、河辺先生を主治医 とした医療体制で支援を行っている。 (外部評価) 家族や本人が希望する病院での受診を第一に考えてい る。必要に応じて、母体病院の医師から病院を紹介し てもらったり、近隣の歯科や皮膚科の往診を受けるな ど、複数の医療機関の協力を得ながら適切な受診支援 に努めている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 関連病院の看護職員から、アドバイスを受けたり、相 談にのっていただいている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 情報交換や相談に努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ターミナルケアの事を事前に話し合いはないが、重篤 化したときには、家族さんとの話し合いを行い、支援 している。 (外部評価) 入所時に医療行為は行わないという方針を家族や本人 に説明をしているが、本人の状態や家族の意向など状 況の変化を考慮し、安心して納得できる最期を迎えら れるよう、話し合いを繰り返し、最良のケアが行える よう取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救命講習への参加。 緊急連絡のマニュアル化。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防訓練だけとなっている。 今後、協力体制が取れるように働きたい。 (外部評価) 消防署の協力を得て避難訓練を行っている。スプリンクラーの設置についても計画をしており、いつ起こるかわからない災害に対する職員の危機意識は高い。	地域の消防団の方に運営推進会議に入ってもらいなどの協力を得ながら、災害の種類や発生時間など、より具体的な状況を想定した避難訓練を行うことで、今以上に利用者が安心して生活できる環境づくりに期待したい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄の失敗等においては、利用者本人に配慮した対応を心がけている。 (外部評価) 家族や本人の了解を得て、親しみを込めて利用者を愛称で呼ぶこともあるが、一人ひとりのプライバシーを大切に考えている。職員の声かけも、穏やかで利用者を尊重した丁寧な言葉遣いである。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活において、個人の意思を尊重している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴介助、リハビリ等は、本人さんの希望を聞き、体調を優先に行っている。 レクリエーションの参加は無理強いをせず、楽しく過ごしていただいている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 季節の衣類の衣替えを共におこない通院外出されるときは、本人の希望を取り入れ、着脱の便のよい物、体感にあったものなどのアドバイスをしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 残存機能を十分に活用していただき、各々に合った調理・片付けに協力していただいている。 (外部評価) 職員は、利用者と一緒に準備・片づけをし、食事の時には作ってくれた方の労をねぎらうなどの配慮があり、和やかな雰囲気の中ゆったりと食事が楽しめている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 五大栄養素がバランスよく取れるよう心がけている。 希望者には自室にお茶、水を常設し、毎日取り替え脱水状態にならないよう気をつけている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後は必ず口腔ケアの声かけに努めている。ケアが不十分な時は介助している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄の時間帯に気を配り声かけしている。失禁への対応は、傷つけないよう特に配慮している。	
			(外部評価) 日中は、特別な理由がない限りトイレ誘導を行い、おむつは本人や家族の希望がない限り使用しない。たとえ希望が出て、利用者本人の自尊心やストレスに配慮しながら、おむつはずしを試みるなど、排泄の自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表をいつもチェックし、排便ができてない日が続かないよう職員が申し送りし、水分補給・食事に気をつけている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 体調を優先に、希望日・時間帯もコミュニケーションをとって希望に沿っている。	
			(外部評価) 入浴時間を職員が一方的に決めないで、毎日入浴したい、午後から入りたいなど、本人の希望を可能な限り聞き入れて対応している。また、リフトでの入浴設備も備えており、個々の身体状況に応じた入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の生活リズムに合わせて、休息・安眠をとっていただけるよう心がけている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者から薬の内容とかの質問があれば、応えられるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 趣味を活かしたり、利用者同士が協力し合って楽しく過ごせるようにしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩・買物等、希望通りしていただいている。職員と同行の買物にも行って頂いている。 (外部評価) 戸外での大きな行事は年間計画を立てて、できるだけ多くの利用者が参加できるよう工夫している。身体的に外出が困難な利用者もいるが、屋内に閉じこもらないで玄関先に出るなど、五感を刺激する機会を作るように配慮している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理のできる人には、所持していただいている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望者には、電話をかけていただき、届いた手紙は読み聞かせをしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 掃除は毎日行っている。 汚染の訴えがあれば迅速に対処している。 (外部評価) リビングには、利用者と職員が一緒に制作した七夕飾りがあり、季節感を感じさせる。また、観葉植物や切り花が飾られており、家庭的で心和む雰囲気づくりがされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファ・椅子など、自分の好きな所に居場所を作っている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家での愛用品などを持ってきて、使っている。 (外部評価) 使い慣れたタンスなどを持ち込んだり、希望に合わせて畳の利用も可能で、利用者にとって居心地がよく安らげる空間となるよう工夫されている。居室の掃除は、できるだけ利用者本人が行っているが、できないところは職員が手伝って支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し、安全に楽しい生活が送っていただけるよう、形や配置に気を付けている。	